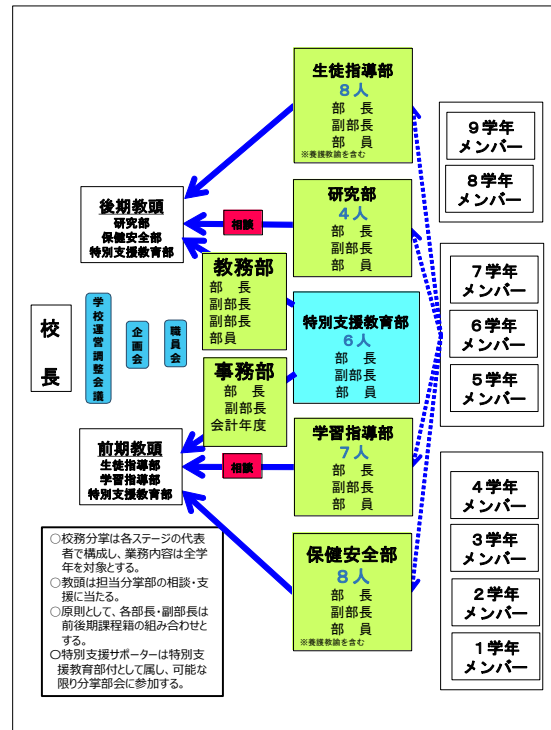


児童生徒数

	1組	2組	特別支援 学級	計
1学年	22	21	0	43
2学年	24	25	1	50
3学年	28	30	5	63
4学年	22	23	5	50
5学年	27	26	3	56
6学年	29	31	2	62
			前期課程計	324
7学年	24	24	0	48
8学年	24	23	0	47
9学年	28	28	1	57
※特別支援学級内訳			後期課程計	152
少人数1組(3年：知的	3名)			
少人数2組(1～4年：情緒	8名)			
少人数3組(5～6年：情緒	5名)			
少人数4組(7～9年：情緒	1名)		総計	476

校時程

校務分掌組織



主な年間行事予定

	月	行 事
1 学 期	4	始業式・入学式・二者面談・参観日 PTA総会・避難訓練・交通安全教室
	5	学校運営協議会・運動会
	6	中学校総合体育大会・参観日・薬物乱用防止教室 ・学園生総会・定期テスト・修学旅行(6年)職場体験学習
	7	学校支援訪問・非行防止教室・お話し 終業式・三者面談
2 学 期	8	始業式
	9	参観日・中学校秋季体育大会・立志のつどい
	10	前期通知表配布 合唱コンクール・全校集会・宿泊学習(5年)
	11	音楽大会・参観日(生涯学習のつどい大会) 定期テスト・お話し
	12	修学旅行(8年)持久走ロードレース大会 鑑賞教室・終業式
3 学 期	1	始業式・避難訓練・給食感謝集会
	2	定期テスト・参観日・学校運営協議会・お話し
	3	送別行事・卒業式・修了式・後期通知表配布

みどりの杜木城学園 基本校時程

	月・金	水	火・木
登校	8:00 着席完了		
健康観察 朝の会	8:00～8:10		
1校時	8:20～9:05		
2校時	9:15～10:00		
3校時	10:10～10:55		
4校時	11:05～11:50		
給食	11:50～12:35		
昼休み	12:35～13:20		
清掃 (木以外)	13:20～13:30 ※水はフッ化物洗口		
5校時	13:35～14:20		
6校時	14:30～15:15		14:30～15:15
グリーン タイム		14:25～15:10	15:20～16:05
帰りの会	15:20～15:30	15:15～15:25	16:10～16:20
その他	終礼(月・金) 15:40～15:50	会識(水) 15:35～16:20	
退庁	16:30		
部活動	15:30～16:30 (延長17:20)		火 16:25～16:30 (延長17:20)
			木：リフレッシュデー

※終礼は月曜日、金曜日に実施
※清掃は統制リ清掃で実施

学力向上の取組

木城スタンダード

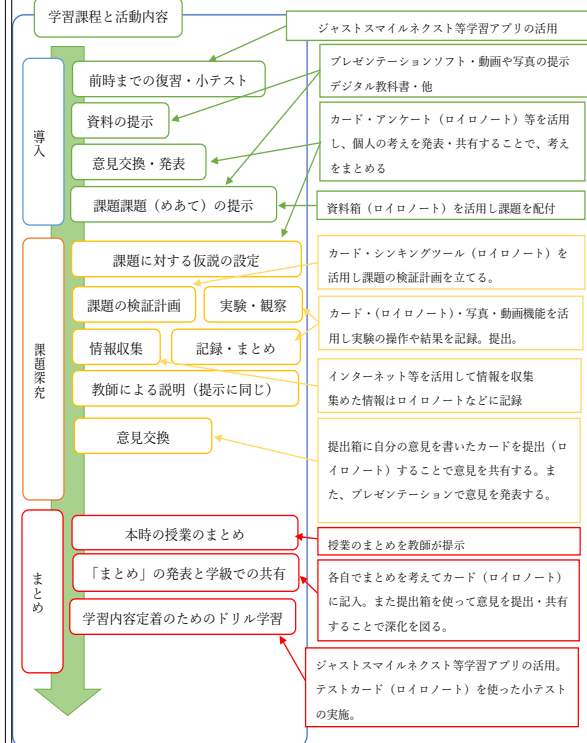
～ 授業づくり・すそめ方のポイント ～

全ての先生方が全ての授業で共同実践することで、みどりの杜木城学園の児童生徒を誰一人取り残さず、大切に育てていくための指針とします。

授業前	① 単元における本時の位置付けや身に付けさせたい資質・能力の明確化 ② 本時の評価基準と評価方法の明確化 ③ 指導する児童生徒の実態（既習事項や定着度／レディネス）の把握 ④ 学習規律（正しい姿勢・話し方・聞き方等）の育成（※学びのやくそく） ⑤ 板書計画やICT（モニターやタブレット等）機器の活用計画（※ICT活用場面がない授業もある。）
導入	● 教師も1分前までに入室し、児童生徒とコミュニケーションをとったり授業の準備をしりする。 ● 児童生徒一人一人に、「なぜ？どうして？」と問いをもたせたり、思いや願いを生かしたりするような事実提示をする。 ● 「本時は何を学習するか、何がわかる・できるようになればよいか」明確な「めあて」が設定される。（※全ての授業で「め」カードの使用）
展開	● 解決への見通しをもたせる。 ・ 答え（結果）の見通し ・ 方法の見通し ● 個での思考（解決）場面がある。（※机間指導・個に応じた指導） ● 集団での思考（解決）場面がある。児童生徒同士で交流し、考えを共有したり比較したりする時間（場）がある。（ペア、グループ（3～4人）、リトルティーチャー等） ICTの活用 ※木城モデル参照 コミュニケーションのいろはは Eye Contact（相手の目を見て） Gesture（体も使って伝えよう） Clear Voice（伝わる声で） Smile（みんな楽しく） Reaction（会話が弾む反応を）
終末	● 習熟を深めるための問題に取り組ませる。（問題集等の活用） ● 身に付けさせたい資質・能力に基づいた「まとめ」をする。（※「め」カードの使用／本時の学習内容や活動を基に自分の言葉でまとめさせる。※発達段階に応じて） ● 授業の振り返りさせる。（何が分かったか、できるようになったか。新たな課題は生まれたか。）
全体	● 挙手等による発表（表現）の機会（場面）を設ける。 ● 教師の指示や発問、説明を精選する。（※しゃべり過ぎない。）

ICTを活用した授業のパターンモデル

授業の中でICTを活用できるパターンを整理



校舎の施設設備コンセプト

学園生交流の場



全学園生が利用する図書館
○吹抜による広い空間
○広い窓と木による明るく優しい空間

地域との交流の場



地域と学校をつなぐ地域ラウンジ
○地域住民が利用する場
○地域住民専用の出入り口

ゆとりある学習環境



明るく広いスペース
○広々とした各教室、特別教室と廊下
○出入り口

安全・安心の場



地域の避難所、地域防災の拠点
○学園生が防災意識を高める場
○地域住民が利用する場

最先端の環境



充実したICT環境
○Wi-Fi環境
○常駐するICT支援員



学園生玄関からつながる交流スペース
○階段状のステージ
○2階からも観覧できる吹抜
○広々とした人工芝の中庭